

## 西洋中世学会会員年間業績リスト（2011年1月～12月）

\* 広い意味での西洋中世（古代末期～近世、イスラーム、ユダヤ、中東アジアなども含む）に関する刊行された業績を、自己申告していただいたものです。

（氏名=五十音順）

### ア

#### 青木繁博（アオキ シゲヒロ）

「マージェリー・ケンプの旅とワードペア」『新潟青陵大学短期大学部研究報告』1、107-121 頁

#### 青山由美子（アオヤマ ユミコ）

「(史料紹介) 11-12 世紀フランドル伯証書の現存状況から伝来状況へ」『東北学院大学 オープンリサーチセンター 22 年度活動報告書』、81-95 頁

「11-12 世紀フランドル伯のカンケラリウス」『西洋史学』239、237-247 頁

#### 朝治啓三（アサジ ケイゾウ）

「ヘンリ三世時代のガスコーニュ・ボルドーと英仏王権」服部良久編『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序』科学研究費・基盤研究（A）成果報告書、京都大学、63-77 頁

#### 阿部俊大（アベ トシヒロ）

「アラゴン連合王国におけるテンプル騎士修道会——王権との関係と統治構造への影響——」『西洋史学』238、1-19 頁

「バルセロナ伯領における征服と支配構造の形成——十二—十三世紀タラゴーナの事例から——」『史学雑誌』120(7)、1-36 頁

### イ

#### 猪刈由紀（イカリ ユキ）

「近世ドイツのカトリック女子教育—A・ルッツ「教育・宗派・ジェンダー」の成果から」『ソフィア』59(3)、86-93 頁

#### 池上俊一（イケガミ シュンイチ）

『パスタでたどるイタリア史』（岩波書店）

「抒情の中世 1 歴史としての抒情詩」『究』（ミネルヴァ書房）4、40-43 頁

「抒情の中世 2 ヨーロッパ文明の芽吹き」『究』（ミネルヴァ書房）5、40-43 頁

「抒情の中世 3 闇に響く聖女の声」『究』（ミネルヴァ書房）6、40-43 頁

「抒情の中世 4 信仰は歌とともに」『究』（ミネルヴァ書房）7、40-43 頁

「抒情の中世 5 踊る死神のメッセージ」『究』（ミネルヴァ書房）8、40-43 頁

「抒情の中世 6 ワイン讃」『究』（ミネルヴァ書房）9、40-43 頁

[書評]「Mario Ascheri, Siena nel primo Rinascimento dal dominio milanese a papa Pio II」『西洋中世研究』3、171頁

[書評]「Pierre Gresser, La pêche en Franche-Comté aux XIIIe- XVe siècles: De l'eau à la bouche」『西洋中世研究』3、187-188頁

### 池上忠弘（イケガミ タダヒロ）

「14世紀のイギリス文学—歴史と文学の世界」『人文研ブックレット』（中央大学人文科学研究所）26、iv+66頁

### 井上浩一（イノウエ コウイチ）

「ビザンツ帝国の戦争——戦術書と捕虜交換」『関学西洋史論集』34、23-37頁

「イル・ハーン国へ嫁いだビザンツ皇女」『人の移動と文化の交差』『ジェンダー史叢書』（松本悠子・粟屋利江編、明石書店）7、63-64頁

[書評]「J. Harris, The End of Byzantium」『西洋中世研究』3、188-189頁

### 井上周平（イノウエ シュウヘイ）

“Heilkundige in der Handwerkszunft: Die Kölner Barbierszunft und ihr organisatorischer Wandel im Spätmittelalter und Früher Neuzeit,” Dominik Groß u.a. (Hg.), *Medizingeschichte in Schlaglichtern: Beiträge des „Rheinischen Kreises der Medizinhistoriker“*, Kassel, pp.91-97.

### 井野崎千代子（イノサキ チヨコ）

“The Intention of Cleopatra Scribe B: What was the Purpose of His Additions to Latin Incipits in Part 1 of *Ancrene Wisse*?” *SIMELL. Studies in Medieval English Language and Literature*（日本中世英語英文学会）26, pp.1-22.

### 今井澄子（イマイ スミコ）

「自己の肖像—ロヒール・ファン・デル・ウェイデンの「自画像」を中心に」蜷川順子責任編集『初期ネーデルラント美術にみる〈個と宇宙〉I 人のイメージ共存のシミュラークル』（ありな書房）39-64、196-202頁

「初期フランドル絵画における「アウグストゥスの幻視」—その図像と機能の変容について—」『鹿島美術研究』年報28号別冊、153-165頁

[書評]「Till-Holger BORCHERT (ed.), *Van Eyck to Dürer: The Influence of Early Netherlandish Painting on European Art 1430-1530*」『西洋中世研究』3、174-175頁

[書評]「Colum HOURIHANE (ed.), *Looking Beyond: Visions, Dreams and Insights in Medieval Art and History*」『西洋中世研究』3、191-192頁

### 今谷和徳（イマタニ カズノリ）

[書評]「野中裕『カール・リヒター論』」『レコード芸術』60(6)、304頁

### 伊能哲大 (イヨク アキヒロ)

「アッシジのフランシスコの『会則』と小さき兄弟会の『会則』をめぐって—その連続と断絶—」  
『日本カトリック神学会誌』22、167-187 頁

### 岩波敦子 (イワナミ アツコ)

「(回顧と展望) ヨーロッパ中世 中東欧・北欧」『史学雑誌』120 (5)、315-319 頁  
「(読書案内) ヨーロッパ中世の都市」『歴史と地理 世界史の研究』(山川出版社) 649(229)、42-46 頁

## ウ

### 上田耕造 (ウエダ コウゾウ)

「シャルル 7 世の顧問官—フランス王国の転換を導くものたち—」『西洋史学』238、20-38 頁  
[書評]「轟木広太郎『戦うことと裁くこと—中世フランスの紛争・権力・真理—』」『関西大学西洋史論叢』14、61-63 頁

### 上野 未央 (ウエノ ミオ)

“Minstrels in Late Medieval London,” *The Haskins Society Journal Japan* 4, pp. 58-64

### 内田日出海 (ウチダ ヒデミ)

「アルザスの公証制度に関する歴史的考察」『成蹊大学経済学部論集』42(1)、99-117 頁

## エ

### 遠藤衣穂 (エンドウ キヌホ)

“A Reconsideration of the Mass Cycle by Arnold de Lantins and Ciconia in Bologna Q15,”  
*Essays on Renaissance Music in Honour of David Fallows: Bon jour, bon mois et bonne estrenne*, ed. Fabrice Fitch and Jacobijn Kiel, Woodbridge: Boydell Press, pp.138-145.  
(Studies in Medieval and Renaissance Music 11)  
「西洋文明におけるキリスト教典礼音楽——中世の視点から」『ミクスト・ミューズ増刊号 音楽学  
論文集』(愛知県立芸術大学音楽学部紀要) 23-29 頁

## オ

### 大黒俊二 (オオグロ シュンジ)

「史料が結ぶ新旧両世界——井上報告へのコメント」『歴史科学』(大阪歴史科学協議会) 204、55-58 頁

### 大高順雄 (オオタカ ヨリオ)

「梵語音 l, l̄, r, r̄ の漢語音写」『大手前大学論集』11、243-75 頁.

### 大貫俊夫 (オオヌキ トシオ)

[書評]「フランツ・フェルテン著 甚野尚志編『中世ヨーロッパの教会と俗世』」『史学雑誌』  
120-6、116-117頁

### 大山知児（オオヤマ トモジ）

「ロシア『Tsarskij tituliarnik』（1672年刊）所収〔肖像画〕の構成と概要」『立正史学』109、63-88頁

「(史料紹介) ロシア『Tsarskij tituliarnik』（1672年）所収〔肖像画〕一覧」『世界史研究論叢』1、124-137頁

### 尾形希和子（オガタ キワコ）

「イタリア・ロマネスクの動物誌 <sup>ベステイアリオ</sup> 3 ノアの方舟（一角獣と象）」『コレンテ』（京都イタリア会館 web 会報誌 <http://italiakaikan.jp/culture/publish/index.html>）5、4-6頁

「イタリア・ロマネスクの動物誌 <sup>ベステイアリオ</sup> 4 蛇」『コレンテ』（京都イタリア会館 web 会報誌 <http://italiakaikan.jp/culture/publish/index.html>）9、4-6頁

### 岡地稔（オカチ ミノル）

「911年・シュヴァーベンにおける「騒擾」(tumultus) ——シュヴァーベン太公権形成前史・覚え書——」『アカデミア』（南山大学）文学・語学編 89、227-271頁

### 小澤実（オザワ ミノル）

『イタリア古寺巡礼 フィレンツェアッシジ』（金沢百枝との共著、新潮社）

“King's rune stones. A catalogue with some remarks,” *HERSETEC: Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration* (SITES 2) 4 (1), pp. 29-42.

「エーゴ、中世イタリア、そしてユーラシア世界」『UP』（東京大学出版会）463、25-30頁

「第7回国際ルーン会議参加記」『北欧史研究』28、48-54頁

「シンポジウム 地中海世界の旅人たち：中世から近世へ コメント2」『史学』（三田史学会）、80（2・3）、133-135頁

### 小野賢一（オノ ケンイチ）

「聖レオナル崇敬の創出と奇蹟（11～12世紀）—平和の守護聖者から戦士の守護聖者へ—」『歴史評論』（歴史科学協議会）730、64-77頁

## カ

### 貝原哲生（カイバラ アキオ）

「六世紀エジプトの単性論派 —分離教会成立に関する一考察—」『洛北史学』13、29-50頁

「6-7世紀中部エジプトにおける宗教的対立 —地域社会の視点から—」『オリエント』54(1)、75-95頁

### 柏淵直明（カシブチ ナオアキ）

[書評] 「(要旨) ガブリエツラ・ザッリ著『ルクレツィア・ボルジアの信仰—告解司祭の未刊行書簡』—イタリアにおける女性史・宮廷史に関する研究動向」 Una presentazione di *La religione di Lucrezia Borgia: Le lettere inedite del confessore* della prof.ssa Gabriella Zarri: La

tendenza di ricerca recente sulla storia delle donne e sulla storia di corte in Italia 『世界史研究論叢』1、103-122 頁

### 梶原洋一（カジワラ ヨウイチ）

「中世の知識人たちとリヨン」『地中海学会月報』337

### 加藤玄（カトウ マコト）

「中世ウエストミンスター宮殿の壁画群」伊原弘編『「清明上河図」と徽宗の時代』（勉成出版）、324-331 頁

[書評]「大宅明美『中世盛期西フランスにおける都市と王権』」『西洋史学論集』49、109-114 頁

### かどやひでのり（カドヤ ヒデノリ）

"Vikinga Epoko, Naciismo kaj Historiografio", Amri Wandel (red.), *Internacia Kongresa Universitato, 64-a sesio, Kopenhago*, Universala Esperanto-Asocio, Rotterdam, pp.55-65.

### 加納 修（カノウ オサム）

「フランク時代」佐藤彰一・中野隆生編『フランス史研究入門』（山川出版社）第2章

“Un acte perdu de « mainbour » de Clovis IV en faveur d'Ingramnus,” *HERSETEC. Journal of Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration* 4(1), pp. 23-28.

### 亀長洋子（カメナガ ヨウコ）

『世界史リブレット 106 イタリアの中世都市』（山川出版社）

### 鴨野洋一郎（カモノ ヨウイチロウ）

「15-16 世紀におけるフィレンツェ・オスマン関係と貿易枠組み」『東洋文化』91、25-45 頁

### 河原 温（カワハラ アツシ）

「15 世紀ブルゴーニュ公国における地域統合とフランドル都市——ブルゴーニュ公とブルッへの儀礼的關係を中心に——」渡辺節夫編『ヨーロッパ中世社会における統合と調整』（創文社）、243-261 頁

[書評]「吉田伸之・高澤紀恵・A・ティレ編『パリと江戸』を読む」『年報都市史研究』18、8-13 頁

[書評]「James W.Brodman, *Charity and Religion in Medieval Europe*」『西洋中世研究』3、180 頁

## キ

### 菊地智（キクチ サトシ）

『エックハルトの「神人合一」思想におけるキリスト論的問題』（早稲田大学出版部）

### 衣笠弥生（キヌガサ ヤヨイ）

## ク

### 草生久嗣（クサブ ヒサツグ）

〔書評〕 「Malcolm D. Lambert, *Medieval Heresy: Popular movement from Bogomil to Hus*, 1<sup>st</sup> edition: New York, 1977; Id., *Medieval Heresy: Popular movements from the Gregorian Reform to the Reformation*, 2<sup>nd</sup> edition: Oxford, 1992, 3<sup>rd</sup> edition: Oxford 2002」『藤女子大学キリスト教文化研究所紀要』12、109-116 頁

### 黒川正剛（クロカワ マサタケ）

『図説魔女狩り』（河出書房新社）

## ケ

### 毛塚実江子（ケヅカ ミエコ）

「消えた牡牛を追って—10 世紀イベリア半島の聖書写本挿絵における動物象徴表現—」『民族芸術』（民族芸術学会）27、146-153 頁

「『960 年聖書』冒頭挿絵『荘厳のキリスト（マイエスタス・ドミニ）』を巡って」『エフクラシス』（ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所紀要）1、26-40 頁。

「レオンの『九六〇年聖書』写本の旧約挿絵研究」『スペインラテンアメリカ美術研究』12、1-18 頁

〔書評〕Beato de Liébana, *Commentario al Apocalipsis*: edición facsímil, 『西洋中世研究』3、194 頁

## コ

### 児嶋由枝（コジマ ヨシエ）

「聖地ロレートとローマの *Salus populi romani*—対抗宗教改革期イタリア美術と日本」『上智史学』56、95-114 頁

### 小沼義雄（コヌマ ヨシオ）

“La résurrection de Gréoréas : le scénario comique dans *Le Conte du Graal* de Chrétien de Troyes”, *Etudes de Langue et Littérature Françaises*, Société Japonaise de Langue et Littérature Françaises 99, pp.3-21.

### 小林繁子（コバヤシ シゲコ）

“Supplikation und Hexereiverfahren im Westen des Alten Reichs – Stand und Perspektiven der Forschung (Rita Voltmer との共同執筆).” *Kurtrierisches Jahrbuch* 51, pp. 247-269.

### 近藤佳代（コンドウ カヨ）

「アングロ・サクソン前期、ウェセックスのイネ王と教会の関係—『イネ王法』における王の視点—」『人間文化創成科学論叢』（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）13、79-86

サ

坂本邦暢 (サカモト クニノブ)

“Eclecticism as Seneca’s Heritage: Evil and the Cosmic Cycle in Justus Lipsius,” Hiro Hirai, ed., *Justus Lipsius and Natural Philosophy*, Brussels: Royal Academy of Belgium, pp. 97-106.

“Creation, the Trinity and prisca theologia in Julius Caesar Scaliger,” *Journal of the Warburg and Courtauld Institutes* 73, pp.195-207.

「質料に宿る量と力：フランシス・ベイコンにおける諸学の統一性」『科学史研究』257、31-36 頁

櫻井康人 (サクライ ヤスト)

「1450～1480 年の聖地巡礼記に見るイスラーム観・ムスリム観・十字軍観—後期十字軍再考(4)—」『ヨーロッパ文化史研究』12、179-227 頁

「12 世紀エルサレム王国におけるフランク人とムスリムの政治的コミュニケーション」『歴史学研究』885、148-157 頁

佐々井真知 (ササイ マチ)

“Joan Horne: A Woman’s Life in London in the Late Fifteenth Century,” *Haskins Society Journal Japan* 4, pp. 54-58.

“Wills of Cutlers in Fifteenth-Century London,” *East Asian Journal of British History* 1, pp. 13-27.

佐々木徹 (ササキ トオル)

「聖アンセルムス研究の視界 (序～Ⅲ)」『言語文化研究所紀要』(茨城キリスト教大学言語文化研究所)、17、17-35 頁

佐々木博光 (ササキ ヒロミツ)

「(史料翻訳・史料解題) ペスト対話に見える近世ヨーロッパ (二)」『人文学論集 (大阪府立大学以文会編)』29、17-37 頁

佐藤彰一 (サトウ ショウイチ)

『フランス史研究入門』(中野隆生との共編著) 山川出版社

「哲学的解釈学からテキスト解釈学へ—歴史テキストを軸にして—」『テキスト布置の解釈学的研究と教育』4 (2)、95-105 頁

「人文系大学院の「危機」」『IDE 現代の高等教育』532、36-39 頁

[書評] 「P. Boucheron, Faire profession d’historien」『西洋中世研究』3、175-176 頁

[書評] 「F. Dosse, Renaissance de l’événement. Un défi pour l’historien entre Sphinx et Phénix」『西洋中世研究』3、181-182 頁

[書評] 「P. Heather, *Empires and Barbarians: Migration, Development and the Birth of Europe*」  
『西洋中世研究』3、190-191 頁

[書評] 「W. POHL & V. Wieser ( hrsg. von ), *Der Frühmittelalterliche Staat-Europäische  
Perspektiven*」『西洋中世研究』3、207-208 頁

[書評] 「G. Traiana, 428. *Une année ordinaire à la fin de l'empire romain*」『西洋中世研究』3、  
210-211 頁

[書評] 「C. Wickham, *The Inheritance of Rome. A History of Europe from 400 to 1000*」『西洋  
中世研究』3、212-213 頁

### 佐藤猛 (サトウ タケシ)

[書評] 「Frédéric F. MARTIN, *Justice et Législation sous le règne de Louis XI: La norme  
juridique royale à la veille des Temps modernes*」『西洋中世研究』3、196-197 頁

### 佐藤公美 (サトウ ヒトミ)

“Fazioni e microfazioni: guelfi e ghibellini nella montagna bergamasca del Trecento,”  
*Bergomum* 104-105(2009-2010), pp.149-169.

「ヴィスコンティ支配下ノヴァラ領域における党派抗争と平和形成」服部良久編『中・近世ヨーロ  
ッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序 科学研究費補助金基盤研究 (A) 代表 服部  
良久 成果報告書 I』、125-134 頁

「Comment on: Andrea Gamberini, *The Languages of politics and the statebuilding process.  
Some remarks*」服部良久編『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序 科  
学研究費補助金基盤研究 (A) 代表 服部良久 成果報告書 I』、222-225 頁

[翻訳] アンドレア・ガンベリーニ「中世後期ロンバルディア農村地域における領主領民紛争——  
レッジョの事例から——」『史苑』72 (1)、161-167 頁

## ス

### 鈴木道也 (スズキ ミチヤ)

“Vernacular chronicles in medieval France (from 13th to 14th century),” *Proceedings of the 6th  
conference of the Medieval Chronicle Society (Pécs, 25-30, July, 2011)*, pp.23-26.

[書評] 「青谷秀紀『記憶のなかのベルギー中世 歴史叙述にみる領邦アイデンティティの生成』『西  
洋史学論集』(九州大学) 49、115-120 頁

[書評] 「轟木広太郎『戦うことと裁くこと—中世フランスの紛争・権利・真理—』『史林』94 (6)、  
92-97 頁

[書評] 「Graeme Dunphy(ed.), *Encyclopedia of the Medieval Chronicle*」『西洋中世研究』3、  
182-183 頁

### 図師宣忠 (ズシ ノブタダ)

「中世都市の描き方—南フランスにおける都市の表象とアイデンティティ—」白幡洋三郎、錦仁、



原田信男編『都市歴史博覧—都市文化のなりたち・しくみ・たのしみ—』（笠間書院）、72-94 頁  
「13・14 世紀南フランスの異端審問記録に関する予備的考察」『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序（科学研究費補助金 基盤研究 A）成果報告書 I（研究代表者：服部良久）』（京都大学文学研究科）、181-87 頁

「Comment on: Andrea Gamberini, The language of politics and the process of statebuilding: Some remarks」『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序（科学研究費補助金 基盤研究 A）成果報告書 I（研究代表者：服部良久）』（京都大学文学研究科）、226-28 頁

## セ

### 瀬戸直彦（セト ナオヒコ）

「マルカブリュの“椋鳥の歌” 2 部作について」『早稲田大学文学研究科紀要』56(2), 14-21 頁

“Le vocabulaire féodal dans Gaucelm Faidit: *sur jove senhoratge* (PC 167, 52, v,43),”  
*L’Occitanie invitée de l’Euregio. Liège 1981- Aix-la-Chapelle 2008: Bilan et Perspectives, Actes du Neuvième Congrès International de l’Association Internationale d’Etudes Occitanes, Aix-la-Chapelle, 24-31 août 2008*, Aachen, Shaker Verlag, pp.519-531.

「ギヨーム 9 世つれづれ」『流域』（青山社）、68, 14-21 頁

## タ

### 高野禎子（タカノ ヨシコ）

「薔薇窓にみる《最後の審判図》」『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』19、275-306 頁

「シャルトル大聖堂のステンドグラス《Baie48》：聖ヨハネ伝の窓—その 4—」『清泉女子大学紀要』59、125-141 頁

### 高橋清徳（タカハシ キヨノリ）

[翻訳] Ch. プティ＝デュタイイ『フランス中世都市における誓約団体〈コミュニオン〉』（IV）『専修大学法学研究所所報』43

### 高山博（タカヤマ ヒロシ）

“Frederick II's Crusade: An Example of Christian-Muslim Diplomacy,” *Mediterranean Historical Review* 25 (2), pp.169-185.

「ゲルマンと地中海～西ローマ帝国以後の新秩序、古代から中世へ～」『地中海学会月報』344、4 頁

### 瀧本佳容子（タキモト カヨコ）

「クリストファー・コロンブス」坂東省次ほか編『スペイン文化事典』（丸善）、650-651 頁

「アルフォンソ 10 世」坂東省次ほか編『スペイン文化事典』（丸善）、502-503 頁

### 田口正樹（タグチ マサキ）

「近代初期徳意志警察條令與刑事司法」（李玉璽訳）政治大學法學院基礎法學中心編『法文化研究

- 継受與後継受時代的基础法學』(国立政治大學法學叢書 67) (元照出版) 181-200 頁
- 「ペーター・フォン・アンドラウの帝国論——15世紀中葉の帝国とドイツ人——」『北大法学論集』62(3)、1-47 頁
- [翻訳]ペーター・ランダウ (田口正樹訳)「学識法とドイツ国制史：ハインリヒ獅子公の訴訟とゲルンハウゼン証書」『新世代法政策学研究』12、149-175 頁
- [書評]櫻井利夫『ドイツ封建社会の構造』『法制史研究』60、263-266 頁
- [書評]「Jürgen DENDORFER und Roman DEUTINGER(eds.), *Das Lehnswesen im Hochmittelalter: Forschungskonstrukte – Quellenbefunde – Deutungsrelevanz*」『西洋中世研究』3、178-179 頁
- [書評]「Andreas RÜTHER, *Region und Identität: Schlesien und das Reich im späten Mittelalter*」『西洋中世研究』3、204-205 頁
- 「学界回顧：西洋法制史」(五十君麻里子、高橋直人、高友希子との共著)『法律時報』83(13)、324-329 頁

### 竹村朋子 (タケムラ トモコ)

- 「フランス、初期ゴシック教会堂扉口基壇の装飾モチーフについて—マント、ルーアンとの影響関係におけるサンスの花文様と連珠文の考察」『美学美術史研究論集』(名古屋大学大学院文学研究科美学美術史学研究室) 25、55-77 頁

### 龍野隆 (タツノ タカシ)

- 「アウグスティヌスの初期哲学的著作における教育思想—『教師論』に見られる「(初期)照明説」と「知」の伝達の問題を中心に—」『哲学』(慶應義塾大学三田哲学会) 126、129-154 頁

### 田中圭子 (タナカ ケイコ)

- 『エリア・スタディーズ 19 ウィーン・オーストリアを知るための 57 章【第 2 版】』(広瀬佳一・今井頭編、明石書店)
- 「皇帝マクシミリアン 1 世の墓廟構想」『大分県立芸術文化短期大学研究紀要』48、67-81 頁
- 「P.E.シュラムの中世象徴研究 —方法と概念—」『西洋史学論集』(九州西洋史学会) 49、59-76 頁

### 田中俊之 (タナカ トシユキ)

- 「15 世紀北西スイスの都市・領主・農民 —バーゼルの領域形成をめぐる権力関係—」踊共二・岩井隆夫編『スイス史研究の地平 —都市・農村・国家—』(昭和堂)、142-162 頁
- 「15 世紀後半北西スイスのラント裁判史料 (その 1) —イムリ紛争：第 1 回公判、第 2 回公判、第 3 回公判—」『金沢大学歴史言語文化学系論集 [史学・考古学篇]』3、165-256 頁
- 「15 世紀後半北西スイスにおける村落内紛争の解決と地域秩序の形成 —ラント裁判記録の分析から—」『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序』(科学研究費補助金 基盤研究(A) <代表：服部良久>成果報告書 I)、87-94 頁
- 「中世末期スイス北西部のラント裁判におけるコミュニケーション —イムリ紛争に見る地域社会の自律性と秩序形成—」『比較都市史研究』30(1)、27-43 頁

### 田中美穂 (タナカ ミホ)

“Ruaidrí Ua Conchobair: The Last High-King of Ireland,” *The Haskins Society Journal Japan*, 4, pp. 39-44.

### 田辺清 (タナベ キヨシ)

「レオナルド・ダ・ヴィンチの《指さす女性》について」『美學美術史論集(千足伸行教授退任記念)』(成城大学大学院文学研究科) 19、29-46 頁

### 田辺めぐみ (タナベ メグミ)

“Une nouvelle réflexion sur le style de l’ornement végétal dans les livres d’heures bretons au XV<sup>e</sup> siècle,” coll. *Senefiance. Effets de Style au Moyen-Âge* 58, pp.255-262.

「装飾の位相—『マルグリット・ドルレアンの時祷書』の余白装飾」『Stella』(九州大学フランス語フランス文学研究会) 30、85-98 頁

「『マルグリット・ドルレアンの時祷書』(BnF.ms.lat.1156B)における植物装飾の創意源泉考察」『鹿島美術研究』(財団法人 鹿島美術財団) 28 別冊、481-489 頁

### 丹下栄 (タンゲ サカエ)

À propos des «chartes d'affectation de biens» pendant le règne de Charles le Chauve. *Revue Belge de Philologie et d'Histoire*, 89, pp.769-777.

## チ

### 地村彰之 (チムラ アキユキ)

『チョーサーの英語の世界』(溪水社)

On the Decline of the Prefix *y-* of Past Participles. *From Beowulf to Caxton: Studies in Medieval Languages and Literature, Texts and Manuscripts*, edited by T. Matsushita, A.V.C. Schmidt and David Wallace, Frankfurt am Main: Peter Lang. pp. 215-28.

「イディオムの変遷—チョーサーからディケンズへ」『The Dickens Lexicon Project と利用法』(堀正広、田畑智司、今林修、西尾美由紀、地村彰之、143-203 頁)『大阪大谷大学英語英文学研究』38, 191-99 頁

## ツ

### 津田拓郎 (ツダ タクロウ)

「9世紀末～10世紀初頭のフランク王国における王国集会・教会会議」『ヨーロッパ文化史研究』(東北学院大学ヨーロッパ文化研究所)12、141-178 頁

「カロリング期のカピトゥラリア—同時代人は「カピトゥラリア」をどのように認識していたか—」岡崎敦編『西欧中世文書の史料論的研究—平成 22 年度研究成果年次報告書』(九州大学大学院人文科学研究院)、22-31 頁

「趣旨説明：古代末期から初期中世における宗教と国家—ローマ・フランク・イスラーム—」『ヨーロッパ・グローバリゼーションと諸文化圏の変容研究プロジェクト報告書 IV』(東北学院大学

オープン・リサーチ・センター)、170-171 頁

「キリスト教国家設立の試み—カール大帝時代(768-814)のフランク王国—」『ヨーロッパ・グローバル化と諸文化圏の変容研究プロジェクト報告書 IV』(東北学院大学オープン・リサーチ・センター)、183-195 頁

### 辻内宣博 (ツジウチ ノブヒロ)

「不対等な関係における友愛の在処—ビュリダンの『ニコマコス倫理学』第 8 巻『中世哲学研究 (VERITAS)』(京大中世哲学研究会) 30、40-55 頁

「14 世紀における時間と魂との関係—オッカムとビュリダン」『西洋中世研究』3、151-166 頁

### 常木清夏 (ツネキ サヤカ)

「エドワード二世宮廷における男同士の絆—*Vita Edwardi Secundi* を中心に—」『ジェンダー研究』(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター) 14、71-82 頁

## テ

### 寺田龍男 (テラダ タツオ)

「中世ドイツ文学の発信型研究の試み—日本文化を出発点として—」『メディア・コミュニケーション研究』(北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院) 61、169-184 頁

## ト

### 藤内哲也 (トウナイ テツヤ)

『クロスボーダーの地域学』(竹内勝徳・西村明との共編、南方新社)

「16 世紀ヴェネツィアにおけるゲットーの創設」『鹿大史学』58、55-66 頁

「第 I 部第 2 章第 2 節 イタリア」『[歴史への扉 2] シャイロックの居場所—ゲットーの成立とユダヤ人』小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著『大学で学ぶ西洋史 [近現代]』(山川出版社) 38-43 頁

### 徳井淑子 (トクイ ヨシコ)

「(解説) 衣服の歴史人類学に向けて」アルフレッド・フラン克蘭『パリの私生活』Part 1: 服飾と「消費文化」別冊 (アティエーナ・プレス)

### 徳橋曜 (トクハシ ヨウ)

「15 世紀フィレンツェ共和国の領域支配意識—1409 年の都市条例案から—」『富山大学人間発達科学部紀要』5(2)、123-138 頁

## ナ

### 中谷功治 (ナカタニ コウジ)

「レオン 3 世政権とテマ」『関西学院史学』38、1-27 頁

「(研究ノート) ビザンツ艦隊をめぐる考察—7 世紀後半—8 世紀初頭を中心に—」『史林』94(4)、71-88 頁

[書評]「井上浩一『ビザンツ 文明の継承と変容』『西洋史学』239、78-81 頁  
「(フォーラム[編者]) シンポジウム：ビザンツ文明を考える」『西洋史学』238、39-40 頁

### 中谷惣 (ナカヤ ソウ)

「司法実践がつくるコムーネ—14 世紀ルッカの民事裁判—」『歴史学研究』879、15-33 頁  
「14 世紀ルッカの裁判記録簿の史的考察」岡崎敦編『西欧中世文書の史料論的研究』(平成 22 年度科学研究費補助金研究成果報告書)、77-81 頁  
“La giustizia civile a Lucca nella prima metà del XIV secolo”, in *Archivio storico italiano*, 169-4 (630), pp. 635-678.

### 名城邦夫 (ナシロ クニオ)

「17 世紀前半西ヨーロッパにおけるニュルンベルク為替銀行の意義—アムステルダム為替銀行との比較を中心に—」『名古屋学院大学論集』(社会科学篇) 48(1)、1-51 頁

### 成川岳大 (ナリカワ タカヒロ)

“Marriage between King Harald Fairhair and Snæfriðr, and their Offspring: Mythological Foundation of the Norwegian Medieval Dynasty?,” *Balto-Scandia: Reports of Balto-Scandinavian Studies in Japan*, Extra Edition, pp. 111-136.  
「12 世紀スカンディナヴィア世界における「宣教大司教座」としてのルンド」『史学雑誌』120 (12)、1-35 頁  
[書評]「Agnes S. ARNÓRSDÓTTIR, Property and Virginitly: The Christianization of Marriage in Medieval Iceland 1200-1600」『西洋中世研究』3、170 頁  
[書評]「Sverre BAGGE, From Viking Stronghold to Christian to Christian Kingdom: State Formation in Norway, c. 900-1350」『西洋中世研究』3、171-72 頁  
[書評]「Martin CARVER, Alex SANMARK & Sarah SEMPLE (eds.), Signals of Belief in Early England: Anglo-Saxon Paganism Revisited」『西洋中世研究』3、177-78 頁

## 二

### 西村善矢 (ニシムラ ヨシヤ)

[翻訳]アントニオ・センニス「場所を叙述すること——西洋中世修道院における記憶と空間——」, *HERSETEC: Journal of Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration* 4(2), 121-38 頁.  
[共訳] パトリック・ギアリ 「ヨーロッパ・ナショナリズムと過去を統御する戦い」(鈴木隆将との共訳), *HERSETEC: Journal of Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration*, 4(2), 139-49 頁.

## ノ

### 野々瀬浩司 (ノノセ コウジ)

「中近世のベルン領における農奴制問題—フリーニスベルクとミュンヘンブッフゼーを中心に—」『史学』(三田史学会) 80 (2・3)、1-34 頁

「近世スイスにおける領邦国家の形成—農民戦争期のシャフハウゼン—」踊共二・岩井隆夫編『スイス史研究の新地平—都市・農村・国家—』（昭和堂）、163-181 頁

## ハ

### 服部良久（ハットリ ヨシヒサ）

『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序』（編著、科研・基盤研究(A)報告書)

「フリードリヒ・バルバロッサの移動宮廷における集会とコミュニケーション」前掲報告書、14-22 頁

「フリードリヒ 1 世・バルバロッサの宮廷とコミュニケーション—儀礼・争い・秩序—」『京都大学文学部研究紀要』50、201-249 頁

[書評]「神寶秀夫『中・近世ドイツ都市の統治構造と変質—帝国自由都市から領邦都市へ—』」『史林』94(4)、128-135 頁

## ヒ

### 久松英二（ヒサマツ エイジ）

[書評]「秋山学『ハンガリーのギリシア・カトリック教会』（創文社・2010 年）」『宗教研究』第 85 卷 3(370)、166-172 頁

### 平井真希子（ヒライ マキコ）

「コプラ概念再考」『音楽学』（日本音楽学会）57(1)、43-55 頁

### 平川佳世（ヒラカワ カヨ）

「マールテン・ファン・ヘームスケルク作《ヘレネーの略奪》にみる型の踏襲と刷新」『平成 19 年度～平成 22 年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書（研究代表者根立ち研介 課題番号 19320026）』、37-58 頁

「幻の名画を求めて—16,17 世紀におけるデューラー素描の絵画化」明治学院大学言語文化研究所『言語文化』28、45-71 頁

「家族の肖像—クエンティン・マセイスの《聖女アンナ祭壇画》にみる理想の家族像」蜷川順子編『初期ネーデルラント美術にみる個と宇宙』1（ありな書房）、129-162 頁

「スプラングルのイタリア滞在—銅板油彩画の観点から」『京都美学美術史学』10、133-162 頁

## フ

### 福島治（フクシマ オサム）

*An Etymological Dictionary For Reading Boccaccio's Teseida*; Franco Cesati Editore (c)

*An Etymological Dictionary For Reading Boccaccio's Decameron:Voll*; Franco Cesati Editore (c)

### 藤井真生（フジイ マサオ）

「中世チェコにおけるアルコール飲料——都市とビールの結びつき——」白幡洋三郎・錦仁・原田

信男編『都市歴史博覧——都市文化のなりたち・しくみ・たのしみ』（笠間書院）、312-333 頁  
「カレル 4 世時代のプラハにおける宮廷集会の開催と権力表象」服部良久編『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序 科学研究費補助金・基盤研究 A 成果報告集 I』、45-54 頁

### 藤井美男（フジイ ヨシオ）

「ブルゴーニュ国家における財政システムの形成—パネルの意義と課題—」『社会経済史学』77 (2)、151-155 頁  
「中世後期ブリュッセル市外市民とブラバント（ブルゴーニュ）公権—ヴァン=アウトフェン事件を事例として—」『経済学研究』（九州大学）78 (2・3)、121-155 頁

### 藤崎衛（フジサキ マモル）

『十三世紀における教皇庁役人および教皇家人に関する研究』（東京大学大学院人文社会系研究科 博士論文）  
『中世ローマ教皇庁のユダヤ人認識に関する研究』（平成 20 年度～平成 22 年度科学研究費補助金・基盤研究 C、研究成果報告書）  
『ヴァチカン物語』（塩野七生、石鍋真澄との共著、新潮社）  
“Constructions mémorielles des victimes des persécutions contre les juifs au Moyen Age — Les accusations de meurtre rituel et les massacres de 1096 —,” in A. Bouchy et M. Ikezawa (éds.), *La mort collective et le politique. Construction mémorielle et ritualisation*, Tokyo: Institut des sciences humaines et sociales, Université de Tokyo, pp. 227-243.  
「中世教皇庁のユダヤ人観——排除か受容か——」『地中海学会月報』341、7 頁  
[翻訳] ミケーレ・バッチ「中世後期イタリアにおける聖なる語り、聖なるモノと幻視体験」『死生学研究』16、201-215 頁  
[書評] 「Thomas Haye, *Päpste und Poeten Die mittelalterliche Kurie als Objekt und Förderer panegyrischer Dichtung*」『西洋中世研究』3、189-190 頁  
[書評] 「Agostino Paravicini Bagliani, *Il Papato nel secolo XIII. Cent'anni di bibliografia (1875-2009)*」『西洋中世研究』3、201-202 頁  
[書評] 「Gianluca Raccagni, *The Lombard League 1167-1225*」『西洋中世研究』3、202 頁

### 藤村拓也（フジムラ タクヤ）

「ヘラルト・ダーフィット作《カンビュセスの裁き》試論—ブルッへの馬上槍試合団体「白熊」をめぐる—」『デアアルテ』27、27-44 頁

### 不破有理（フワ ユリ）

“A “Just War”? A Further Reassessment of the Alliterative *Morte Arthure*,” *War and Peace: Critical Issues in European Societies and Literature 800-1800*. Eds. Albrecht Classen and Nadia Margolis (De Gruyter, 2011), pp.349-375.

## ホ

### 細田あや子（ホソダ アヤコ）

“Eastern and Western Perspectives on the Other World in Parable Icons: Lazarus and the rich man and Niga byakudō,” T. Kurihara (ed.), *Glauben und Wissen in der Geistesgeschichte*, Niigata University, pp.53-80.

「宗教における表象と造形——その教育的機能をめぐって」『宗教研究』369、319-346 頁

「光り輝く者との交感——ヒルデガルト・フォン・ビンゲンのヴィジョン」栗原隆編『共感と感応——人間学の新たな地平』（東北大学出版会）、257-288 頁

[書評] 松村一男著『神話思考 1 自然と人間』『宗教研究』368、192-198 頁

### 堀越宏一（ホリコシ コウイチ）

「中世後期フランスの三部会における課税合意の形成と課税放棄」渡辺節夫編『ヨーロッパ中世社会における統合と調整』（創文社）、130-158 頁

## マ

### 松根伸治（マツネ シンジ）

「ストアとスコラの倫理学」（シンポジウム序説）『中世思想研究』53、132-135 頁

[共訳] トマス・アクィナス『神学大全 21』（渋谷克美との共訳、創文社）

### 松本涼（マツモト サヤカ）

「A Foundation Myth of Iceland: Reflections on the tradition of Haraldr hárfagri」『日本アイスランド学会会報』30、1-22 頁

### 松本典昭（マツモト ノリアキ）

[共訳] ジーン・A・ブラッカー『ルネサンス都市フィレンツェ』（岩波書店）

## ミ

### 三佐川亮宏（ミサガワ アキヒロ）

『ドイツ史の始まりー中世ローマ帝国とドイツ人のエトノス生成』（北海道大学大学院文学研究科 博士論文）

### 皆川卓（ミナガワ タク）

[書評] 「瀬原義生『スイス独立史研究』」『西洋史学』875、51-54 頁

## ム

### 村上寛（ムラカミ ヒロシ）

「自由心霊派とマルグリット・ポレート」『エクフラシス』（ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所）1、96-108 頁

「マルグリット・ポレートに対する異端審問における異端理由とその解釈」宗教研究（日本宗教学会）370、47-69 頁



### 村田光司（ムラタ コウジ）

[翻訳]張瑞林「ギリシア語パピルス断片の再構成—ストラスブール大学所蔵ローマ期の徴税関連三卷子本—」*HERSETEC: Journal of Hermeneutic Study and Education of Textual Configuration* 4(2), 107-119 頁

[書評]「Kostis Smyrlis, *La fortune des grands monastères byzantins (fin du x<sup>e</sup> - milieu du xiv<sup>e</sup> siècle)*」『西洋史学』239、81-84 頁

### 村松綾（ムラマツ アヤ）

「1499年のスイス盟約者団代表者会議-取り扱い案件と参加者からの考察-」『歴史学研究月報』613、3-4 頁

### 村松真理子（ムラマツ マリコ）

「ガブリエレ・ダンヌンツィオの『聖セバスチャン』をめぐって」『文芸研究- 明治大学文学部紀要』（明治大学文学部）114、203-217頁

「ペスト以前の文学」西本晃二編纂『イタリア文化事典』（丸善）

[書評] “*Genten itaria-runesansu jinbunshugi / Capolavori dell’Umanesimo italiano, [A cura di] Shunichi Ikegami, Nagoya, Nagoya Daigaku Shuppankai, 2010, pp.VI-922,*” *Albertiana* (Société International Leon Battista Alberti) 14, pp.258-261.

[書評]「*Dante Alighieri, Opere. Edizione diretta da Marco Santagata, Volume primo. Rime, Vita nova, De vulgari eloquentia, a cura di Cludio Giunta, Guglielmo Gorni, Mirko Tavoni*」『西洋中世研究』3、169頁

## モ

### 榎山陽子（モミヤマ ヨウコ）

「ルネサンス期のイギリス・マドリガルのディクシヨンの研究—《オリアーナの勝利 The Triumphs of Oriana》(1601) の場合—」『ミクスト・ミューズ増刊号 音楽学論文集』（愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース）、129-141 頁

### 森本光（モリモト ヒカル）

「フリードリヒ一世・バルバロッサ治世における国王宮廷への伺候について—バーベンベルガーとヴィッテルスバッハーを中心に—」『歴史学研究月報』618、7 頁

## ヤ

### 山内志朗（ヤマウチ シロウ）

『存在の一義性を求めて』（岩波書店）

『イスラーム哲学とキリスト教中世（1 理論哲学）』（竹下政孝との共編著、岩波書店）

「至福直観と享受—西洋中世における享受の問題」栗原隆他編『共感と感応』（東北大学出版会）、245-255 頁

### 山口隆介（ヤマグチ リュウスケ）

- 「トマス・アクィナス『神学綱要』の概要」『聖泉論叢』（聖泉大学紀要委員会）18、103-116 頁  
「トマス・アクィナスの創造論—『神学綱要』抄訳と註解」『聖泉論叢』（聖泉大学紀要委員会）18、117-129 頁

### 山田雅彦（ヤマダ マサヒコ）

- 「中世後期アミアンにおける契約登記簿の誕生—都市自治体による非訟裁判権<jurisdiction gracieuse>の行使を軸として」『史窓』（京都女子大学史学会）68、421-444 頁  
「コミュニオン成立期アミアンにおける司教権力と都市共同体の協同—空間的聖性の演出と受容をめぐる予備的考察」服部良久編『平成 21-22 年度科学研究費補助金基盤研究(A)成果報告書』（京都大学）、158-164 頁  
「中世都市アミアンの非訟裁判権<jurisdiction gracieuse>に関する記録—シログラフから契約登記簿まで」岡崎敦編『西欧中世文書の資料論的研究—平成 22 年度研究成果年次報告書』（九州大学）、49-67 頁  
[書評] 「Annemarieke WILLEMSEN and Hanneke KIK (eds.), *Dorestad in an International Framework. New Research on Centres of Trade and Coinage in Carolingian Times: Proceedings of the First 'Dorestad Congress' held at the National Museum of Antiquities Leiden, the Netherlands June 24-27, 2009*」『西洋中世研究』3、213-214 頁

### 山辺規子（ヤマベ ノリコ）

- 「ボローニャの聖ペトロニウス信仰にみる都市統合」『中・近世ヨーロッパにおけるコミュニケーションと紛争・秩序 成果報告書 I』（基盤研究（A）研究代表者 服部良久）、114-124 頁  
[書評] 「Carrie Elizabeth Beneš, *Urban Legends: Civic Identity and the Classical Past in Northern Italy, 1250-1350*」『西洋中世学研究』3、176 頁

### 山本潤（ヤマモト ジュン）

- [書評] 「Elisabeth Lienert, Die >historische< Dietrichepik: Untersuchungen zu >Dietrichs Flucht<, >Rabenschlacht< und >Alpharts Tod<」『西洋中世研究』3、194-195 頁

## ヨ

### 横山安由美（ヨコヤマ アユミ）

- 「書かれざるテキスト—アンジェの黙示録タピスリーにおける無文字の「吹き流し」について」『西洋中世研究』3、66-85 頁

### 吉川文（ヨシカワ アヤ）

- [書評] 「Robert A. Maxwell (ed.), *Representing History, 900-1300: Art, Music, History*」『西洋中世研究』3、197-198 頁

## ワ

### 和田葉子（ワダ ヨウコ）

「コケインの国を求めて—空飛ぶ修道士とその餌食についての一考察」『関西大学東西学術研究所  
創立 60 周年記念論文集』（関西大学出版部）、281-91 頁